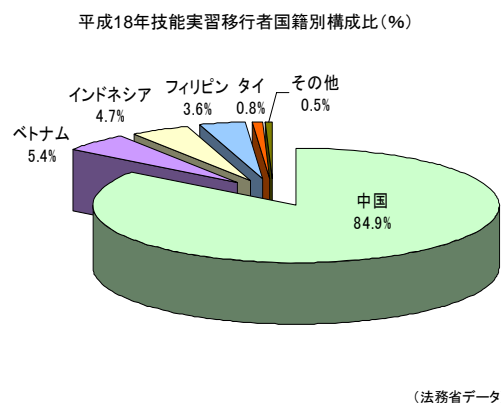
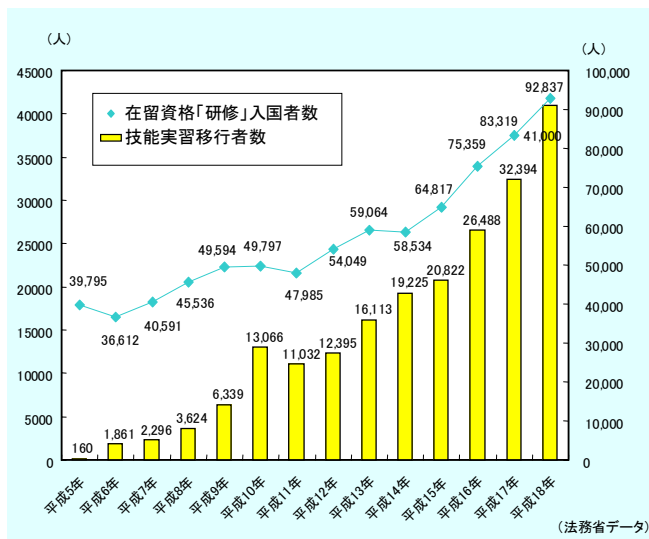
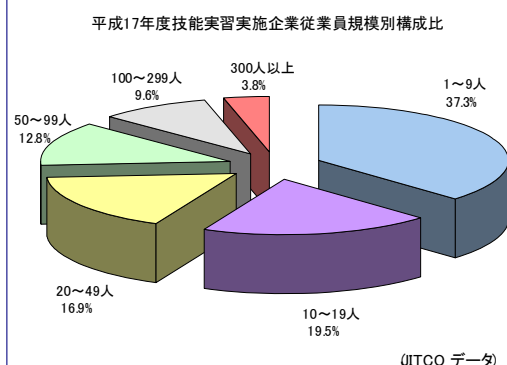
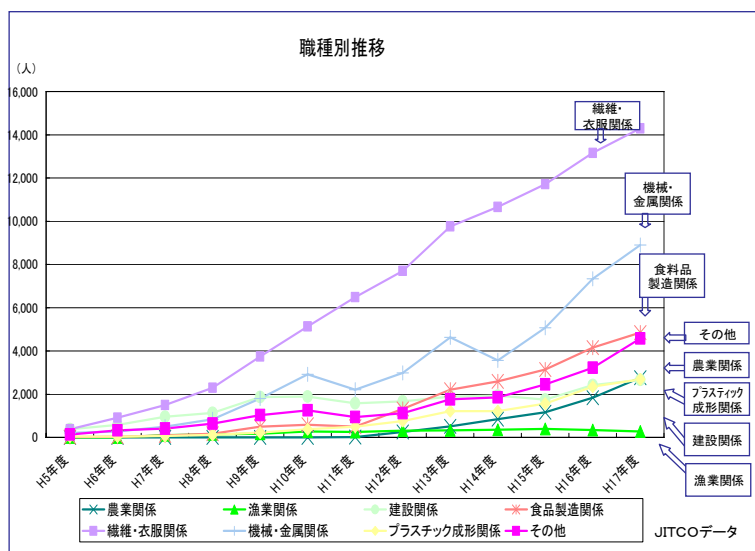


技能実習移行者数は約4万1千人、技能実習中の者は約7万人に上っている。国籍別には、実習生の約85%が中国、次いでベトナム、インドネシア、フィリピン、タイの順となっている。



受入れ側の状況を見ると、実習生受入れ人数の多い職種は、①繊維・衣服関係、②機械・金属関係、③食料品製造関係となっており、近年の特徴として、繊維・衣服、機械・金属関係が増加している。受入れ機関については、受入れ団体数は1,116団体（平成17年度）、受入れ企業数は13,710企業（平成17年度）であり、受入れ企業の半数以上が従業員規模19人以下の中小零細企業である。



また、実習生の在留地域を都道府県別にみると、岐阜（繊維・衣服等）、愛知（機械・金属等）、茨城（農業等）、広島（機械・金属等）等が多い。